

担当講座	医学教育学講座 地域医療学分野	問合せ先	地域医療学分野
分野責任者	伊藤 智範 教授	連絡先	内線5102
担当教員	伊藤 智範 教授 田島 克巳 教授 相澤 純 特任講師		
人材育成の 基本理念	地域の医療ニーズを探求し、地域の問題克服に貢献できる人材を育成する。		
主な研究内容	地域医療学、医療情報学についての研究を行う。岩手県内での地域包括ケアシステムの調査を行っていく。各医療圏で運用されている医療情報システムを調査して、活用状況を検証する。さらに、地域の問題をIoT技術と融合させて解決できる手法を探索する。また医学教育学分野と連携して、研究室配属学生の指導も行う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	地域の医療ニーズに応えるために、最新のIoT技術と医療情報学の知識を習得することにより、地域医療の問題点を解決できる。	1, 2, 3, 4, 8	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(4)解析結果をまとめ、発表できる(英文が望ましい)	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)地域医療学の大系について説明できる。	地域医療学総論・各論、地域医療ブレインストーミング1・2	
	(8)地域包括ケアシステムの展望について、説明できる。	地域医療学総論・各論、地域医療ブレインストーミング1・2	
	(9)医療とIoT技術にかかわる制度、設備等の現状と問題点について説明できる。	地域医療学総論・各論、地域医療ブレインストーミング1・2	
	(10)地域医療に関する研究を立案できる。	地域医療学総論・各論、地域医療学セミナー1、地域医療実地研究1・2	
(11)医学教育学の基本的な知識の修得	医学教育学講義1・医学教育学セミナー1・3・4		
資格取得等	特になし。(自己努力により、認定産業医や内科専門医などを取得することも可能)		
履修に関する 情報	社会人大学院生など、勤務等で授業に出席できない場合は、日程等の調整に応じます。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論(2単位)」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。		

## ●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	1～4年	講義	地域医療学総論・各論	通年	30	4	20単位	
		講義	医学教育学講義1	通年	30	4		
		演習	地域医療ブレインストーミング1	前期	15	2		
		講義	地域医療ブレインストーミング2	後期	15	2		
	1～4年	演習	医学教育学セミナー1	通年	8	1		
	2年	演習	地域医療学セミナー1	通年	8	1		
	3年	演習	医学教育学セミナー3	通年	8	1		
	4年	演習	医学教育学セミナー4	通年	8	1		
	1～4年	実習	地域医療実地研究1	通年	30	2		
	実習	地域医療実地研究2	通年	30	2			
特 別 研 究	2年		特別研究Ⅰ(初期審査)	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年		特別研究Ⅱ(中間審査)	通年	8	1		
	4年		特別研究Ⅲ(論文作成)	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

総合臨床医学

コード	MD13151010				MD13151020				MD13151030				MD13151040				
科目	地域医療学総論・各論				医学教育学講義1				地域医療ブレインストーミング1				地域医療ブレインストーミング2				
科目責任者	伊藤智範				田島克巳				伊藤智範				伊藤智範				
担当者	伊藤智範				田島克巳				伊藤智範				伊藤智範				
会場	医学教育学講座スタッフルーム				医学教育学講座スタッフルーム				医学教育学講座スタッフルーム				医学教育学講座スタッフルーム				
区分等	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	演習	単位	2	区分	講義	単位	2	
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	前期15コマ	配当年次	1~4	回数	後期15コマ	配当年次	1~4	
主な授業内容	大学院生として地域医療の研究を立案することを修得する。 地域医療関連学会主催のセミナーを受講する。(地域医療教育協議会、内科学会地域医療シンポジウム等)				医学教育学の基本的な知識の修得				定期抄読会への参加				定期抄読会への参加				
	教育成果	地域医療学の概要を理解して、地域ベースの研究を立案できる能力を修得する。				医学教育の歴史と現在の国際的状況を学び、能動学修の教育法、知識・技能・態度教育にあわせた評価法を説明できるようになる。				世界の論文にあたり、地域医療学・地域医療教育学に関する研究について、批判的吟味を含めた理解ができることを修得する。				世界の論文にあたり、地域医療学・地域医療教育学に関する研究について、批判的吟味を含めた理解ができることを修得する。			
SBO	到達目標	分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)				分野の達成目標 (11)				分野の達成目標 (7)(8)(9)				分野の達成目標 (7)(8)(9)			
	特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																
講義日程	時間割参照																
教科書参考書																	

コード	MD13151050				MD13151060				MD13151070				MD13151080				
科目	医学教育学セミナー1				地域医療学セミナー1				医学教育学セミナー3				医学教育学セミナー4				
科目責任者	田島克巳				伊藤智範				田島克巳				田島克巳				
担当者	相澤純				伊藤智範				田島克巳				田島克巳				
会場	医学教育学講座スタッフルーム				医学教育学講座スタッフルーム				医学教育学講座スタッフルーム				医学教育学講座スタッフルーム				
区分等	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	
	回数	通年8コマ	配当年次	1	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年8コマ	配当年次	4	
主な授業内容	地域医療学に必要な能動学修につながる様々な教育技法について、学習する。 学習した教育技法のいくつかを、実際に経験してみる。 それらの知識をもとに、教育計画を立案する。				ある特定の医療圏をターゲットに、問題点を抽出して、解決策を立案することを修得する。 他学部合同臨床実習に参加し、IPE実習における教育手法を考察する。				文献や論文を通じて医学教育学における研究技法の専門的知識の習得を行う。				文献や論文を通じて医学教育学における研究技法の発展的知識の習得を行う。				
	教育成果	地域医療学に必要な様々な教育技法について、その特徴、方法、適応について説明することができる。 模擬事例について、適切な教育技法を使用した教育計画を立案することができる。				地域で協働する多職種との連携と、その問題点解決策を提案できる。				医学教育学の論文により医学教育の研究法の特異性を学び、医学教育学の専門的知識を習得する。				医学教育学の論文により医学教育の研究の特異性を学び、医学教育学の発展的な知識を習得し、研究に活用する。			
SBO	到達目標	分野の達成目標 (11)				分野の達成目標 (10)				分野の達成目標(10) (11)				分野の達成目標(10) (11)			
	特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																
講義日程	時間割参照																
教科書参考書																	

●各科目の授業計画

総合臨床医学

コード	MD13151090				MD13151100				MD13159010				MD13159020			
科目	地域医療実地研究1				地域医療実地研究2				特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ			
科目責任者	伊藤智範				伊藤智範				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	伊藤智範				伊藤智範				各指導教員				各指導教員			
会場	各医療圏				各医療圏				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	実習	単位	2	区分	実習	単位	2	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3
主な授業内容	医学部学生の地域医療実習へ同行して、指導を行いながら、医療圏の課題を抽出・立案する実習				医学部学生の地域医療実習へ同行して、指導を行いながら、医療圏の課題を抽出・立案する実習				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備			
教育成果	医師として地域を俯瞰し、その問題点を現場で把握できる方法を修得する。				医師として地域を俯瞰し、その問題点を現場で把握できる方法を修得する。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査>2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査>3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。			
SBO	分野の達成目標 (10)				分野の達成目標 (10)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。							
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。								①受講票 ②初期審査結果				①受講票 ②中間審査結果			
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

コード	MD13159030															
科目	特別研究Ⅲ															
科目責任者	各(正)指導教員															
担当者	各指導教員															
会場	各指導教員と相談の上決定															
区分等	区分	演習	単位	2												
	回数	通年15コマ	配当年次	4												
主な授業内容	・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備															
教育成果	生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成>学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。															
SBO	分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)															
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。															
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。															
講義日程																
教科書 参考書																

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20			医学教育学講義1			共通教育科目
2 限	10:30~12:00					地域医療プレインストーミング1	
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10	地域医療学総論・各論				医学教育学セミナー1・3・4	
5 限	18:00~19:30	地域医療学セミナー1				特別研究Ⅰ～Ⅲ	
6 限	19:40~21:10						
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20			医学教育学講義1			共通教育科目
2 限	10:30~12:00					地域医療プレインストーミング2	
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10					医学教育学セミナー1・3・4	
5 限	18:00~19:30	地域医療学総論・各論				特別研究Ⅰ～Ⅲ	
6 限	19:40~21:10						

※「地域医療実地研究1・2」は詳細が決まり次第連絡します。

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						